

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

◎学習活動の充実

(公) 公民館耐震補強対策事業 (教育委員会事務局 社会教育課)

268,487千円 (19,314千円)

1 事業目的

耐震改修促進法に基づく特定建築物及び旧耐震基準に基づく災害拠点施設、避難所である耐震化されていない公民館について、平成27年度までに順次耐震化を行う。

また、耐震化を行う公民館において、大規模改修の必要な箇所について一体的に整備を行う。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

(1) 公民館耐震化設計委託料 6,725千円

- ・高津公民館
- ・角野公民館

(2) 耐震化工事 60,000千円

- ・大生院公民館体育館
- ・多喜浜公民館
- ・口屋跡記念公民館

(3) 大規模改修工事 201,762千円

- ・多喜浜公民館
- ・口屋跡記念公民館

4 財源内訳

(1) 国 1/3 21,479千円 (防災・安全交付金)

(2) 市債 90% 37,500千円 (公共事業等債)

(3) 一財 209,508千円

◎地域づくりの推進

(施) **別子山自然体験事業費 (経済部 別子山支所)**

800千円

1 事業目的

別子山地域の自然や特産物を活用した「体験・交流型イベント事業」を開催することにより、別子山地域の魅力について情報発信するとともに、イベント参加者による市民交流を円滑にすることで地域の活性化を図る。また、多くの市民が、植物・動物・雪・溪流などの豊かな自然環境に直接触れることで、自然に関する感受性や環境問題への意識高揚を図る。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

- ・事業内容 体験・交流型イベントの開催 (例：雪合戦大会等)
- ・開催場所 別子山地域内
- ・実施方法 別子山地域住民を中心とした団体等が実施した事業に対する補助
- ・事業予算 イベント事業費補助 (負担金補助及び交付金) 800千円

4 財源内訳

- (1) その他 400千円 (市町振興協会交付金)
- (2) 一財 400千円

◎学校教育の充実

(公・単) **小・中学校施設環境整備事業 (教育委員会事務局 学校教育課)**

101,243千円 (150,954千円)

1 事業目的

小・中学校の施設・設備の適正な保守及び維持管理を図り、児童・生徒が安全で快適な教育を受けることができる環境をつくる。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

(1) 工事費 61,008千円

①体育館屋根塗装改修工事

若宮小学校・浮島小学校・金子小学校・角野小学校・垣生小学校

②惣開小学校プールろ過配管布設替工事

③多喜浜小学校校舎壁面改修工事

④浮島小学校北棟2階トイレ改修工事

⑤小学校特別教室扇風機設置工事

⑥川東中学校防球ネット改修工事

⑦川東中学校体育館建具改修工事

(2) 施設修繕料 29,252千円

・老朽化による学校施設・設備等の修繕

(3) 委託料 8,049千円

①金栄小学校運動場排水工事設計

②屋内運動場屋根点検及び清掃

③高木剪定・樹木消毒

(4) 備品購入費等 2,934千円

・惣開小電話機更新、真砂土購入、排水路浚渫、遊具撤去外

4 財源内訳

(1) 国 1/3 900千円 (学校施設環境改善交付金)

(2) 市債 75% 1,300千円 (学校教育施設等整備事業債)

(3) 一財 99,043千円

(公) **小学校大規模改造事業 (教育委員会事務局 学校教育課)**

32,972千円 (186,916千円)

1 事業目的

学校施設は、子どもたちの学習・生活の場であるとともに、地域コミュニティの中心であり、非常時には防災拠点の役割を果たす施設であるため、安全かつ安心な施設環境を確保することが必要である。また、児童生徒を取り巻く社会環境の変化に伴い、時代に即した機能的な施設環境を確保するためにも、学校施設の大規模改修を実施する。

2 事業年度

平成26年度

3 26度の事業内容

・泉川小学校南棟大規模改造工事設計 20,318千円

・大生院小学校プール改築工事設計 12,654千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

4 財源内訳

- (1) 国 1/3 6,772 千円 (学校施設環境改善交付金)
- (2) 市債 90% 21,400 千円 (学校教育施設等整備事業債)
- (3) 一財 4,800 千円

(施) **学力向上学習支援事業費 (教育委員会 学校教育課)** (新規)

1,356千円

1 事業目的

「小中学生の学力向上」のため、新居浜教育会(教員OB)や現職教員及び愛媛新聞社と連携を取りながら、放課後や夏休みの時間を利用し、学習支援事業を行う。

2 事業年度

平成26年度

3 事業概要

- (1) 小学生学習支援事業
公民館に放課後の学習の場を創設し勉強を習慣づける。
- (2) あかがね算数・数学コンテスト
数学的な考え方を駆使して難問に挑戦することを通して、優れた数学的資質能力を備えた児童生徒を育成する。
- (3) 新聞制作体験学習支援事業
愛媛新聞社と共催し、中学生に生徒会活動の中で新聞制作を体験させ、言語活動やコミュニケーション能力の向上等を図る。

4 26年度の事業内容

- (1) 小学生学習支援事業
平成26年9月～平成27年3月の平日の放課後に、川東・川西・上部各1か所の公民館において、小学4年生～6年生に対し、宿題、授業のわからないところの復習など個別に支援する。
- (2) あかがね算数・数学コンテスト
開催日時：平成26年8月、9:00～12:00 試験時間90分
- (3) 新聞制作体験学習支援事業
平成26年7月～12月の間に4回位、愛媛新聞社専門スタッフのレクチャーを受けて新聞を制作し、愛媛新聞朝刊に掲載してもらう。

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) いじめ・不登校問題等対策費 (教育委員会事務局 学校教育課) (拡充)

17,349千円 (15,438千円)

1 事業目的

近年、子どもたちを取り巻く社会環境が著しく変化する中で、学校や社会に適応できない子どもが増加しつつある。いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応、不登校児童生徒への学習指導や相談活動、学校復帰等社会的自立に向けた効果的な支援について、適応指導教室「あすなろ教室」を拠点として、学校、家庭、地域、関係機関等が連携し、いじめ・不登校問題等の解消を図る。

2 事業年度

平成26年度

3 事業概要

適応指導教室での不登校児童生徒への教科指導、個別カウンセリング、訪問指導、集団活動を通じた学校への復帰の支援等を前年に引き続き実施する。なお、平成25年度から小学4年生～中学1年生を対象に実施している「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査(Q-U)」について、近年、いじめ、不登校問題の低年齢化が顕著であることから、対象を小学1年生からに拡大し、小中全学年をカバーすることにより、きめ細かく診断結果を分析・検証するとともに、児童生徒の不登校等の未然防止やいじめの早期発見、学校(教諭等)における学級経営・授業改善に向けた取組を行う。

4 26年度の事業内容

・適応指導教室相談員(4人)報酬等	9,405千円	
・訪問相談員、カウンセリング等謝金	708千円	
・連絡協議会、研修会等出席旅費	98千円	
・教材、文具、学習図書等購入費	126千円	
・いじめ調査報告書(冊子)印刷製本費	96千円	
・いじめ110番通話料、賠償責任保険料等	219千円	
・楽しい学校生活を送るためのアンケート調査(Q-U)実施委託料	6,262千円	
・体験活動等バス借上げ、施設使用料、IT学習支援ソフト使用料等	430千円	
・全国適応指導教室連絡協議会費(負担金)	5千円	

5 財源内訳

(1) 県 10/10	610千円 (不登校対策総合推進事業委託金)
(2) 一財	16,739千円

◎芸術文化の振興

(公) 市民文化センター耐震補強対策事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課)

59,500千円 (145,950千円)

1 事業目的

平成24年度に実施した耐震診断の結果を受けて、補強工事を実施する。

平成26年度は市民文化センターの大ホール、中ホール、本館(事務所)の補強工事を実施予定。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

市民文化センター耐震化工事 59,500千円

- ・工事期間 (本館) 6・7月
- (大ホール) 7月～11月
- (中ホール) 1月～3月

4 財源内訳

- (1) 国 1/3 13,000千円 (防災・安全交付金)
- (2) 市債 90% 36,400千円 (公共施設等耐震化事業債)
- (3) 一財 10,100千円

(単) 文化施設環境整備事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課)

269,726千円 (30,409千円)

1 事業目的

老朽化が進んでいる文化施設、特に市民文化センターについて耐震補強工事とともに施設の整備をし、利用環境の改善、利便性の向上を図る。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

工事費 255,712千円

- ・別館エレベーター更新
- ・非常用発電機更新
- ・高圧ケーブル・開閉器更新
- ・大ホールワイヤレスマイク更新
- ・中ホールロビー屋上防水工事
- ・大ホール舞台床張替工事
- ・大ホール吊物改修
- ・大ホール空調設備更新

使用料及び賃借料 14,014千円

- ・大ホール調光設備及び負荷設備更新
- ・大ホール舞台音響設備改修工事

4 財源内訳

- (1) 繰入金 162,043千円 (公共施設整備基金)
- (2) 一財 107,683千円

フィールド5 教育文化 ～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) **総合文化施設建設推進費（企画部 総合文化施設準備室）** **2,649千円** (90,652千円)

1 事業目的

総合文化施設の建設と並行して、事業計画や今後の館の運営計画を検討していくのにあたり、アドバイザーの招聘を行うとともに、美術品の収集計画等を策定するため、収集・評価委員会を開催する。

2 事業年度

26年度

3 26年度の事業内容

アドバイザー招聘、収集・評価委員会開催のための旅費、報償費等経費

（アドバイザー）

- ・総合プロデューサー 鴻上尚史
- ・アンバサダー 高見知佳
- ・美術館顧問 原田平作
- ・アートディレクター 曾我部清典
- ・アドバイザー 市橋宏、上田真二、吉田広ほか

（収集・評価委員会）

- ・新居浜ゆかりの美術の収集方針確立（3回程度開催）

(施) **総合文化施設管理運営費（企画部 総合文化施設準備室）（新規）** **108,815千円**

1 事業目的

平成27年春オープン予定の総合文化施設の管理運営に関して管理計画・事業実施計画を策定し、円滑に運営され、多くの市民に利用してもらえる施設を目指す。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

- (1) 開館準備支援業務委託 23,900千円
総合文化施設の平成27年春オープンに向けて事務管理業務への協力、事業計画の具体化、地域の人材活用策の立案などの委託業務
- (2) プレ事業実施業務委託 8,100千円
美術・音楽・演劇など市民と協働して実施するプレ事業の企画運営業務
- (3) 総合文化施設に適する飲食物販施設の調査検討業務委託 5,057千円
総合文化施設内での飲食物販施設の運営案、モデル案の策定
- (4) 総合文化施設指定管理料 69,522千円
平成26年10月1日より指定管理の予定
- (5) 事務費一式（臨時職員人件費等） 2,236千円

4 財源内訳

- (1) 県 5,056千円（市町緊急雇用創出事業費補助金）
- (2) 一財 103,759千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) 総合文化施設充実費 (企画部 総合文化施設準備室) (新規)

10,191千円

1 事業目的

総合文化施設は平成27年春にオープン予定であるため、円滑に開館・事業の実施ができるよう運営・展示等に関する打ち合わせや協議を重ねる。また、開館のプレ事業として美術展覧会や音楽公演を実施しながら、開館へ向けての機運を盛り上げていく。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

- ・ 現有コレクションによる美術展覧会及び音楽公演開催経費 3,451千円
- ・ 総合文化施設パンフレット作成、打ち合わせ旅費等 6,740千円

4 財源内訳

- (1) その他 800千円 (雑入)
- (2) 一財 9,391千円

(施) 美術品購入基金積立金 (企画部 総合文化施設準備室) (新規)

100,000千円

1 事業目的

総合文化施設に収蔵する美術品を円滑かつ効率的に購入するため購入基金を創設する。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

美術品購入基金への積立

4 財源内訳

- (1) その他 100,000千円 (文化振興基金)

◎スポーツの振興と競技力の向上

(公) **体育施設環境整備事業（教育委員会事務局 スポーツ文化課）**

35,260千円 (66,339千円)

1 事業目的

老朽化が進んでいる体育施設を整備し、利用環境の改善、利便性の向上を図る。また、整備器具等で各体育施設の維持管理及び適正な整備を行う。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

工事費 25,291千円

- ・山根公園屋内プールろ過機濾材交換工事
- ・東雲市民プール塗替塗装工事（子どもプール）
- ・東雲市民プール滑り台修理工事
- ・東雲競技場改修工事

委託料 7,395千円

- ・市民体育館耐震設計委託料

備品購入等 2,574千円

- ・東雲競技場陸上競技場公認にかかる備品購入等

4 財源内訳

- | | | |
|------------|----------|---------------|
| (1) 国 1/3 | 2,465千円 | (防災・安全交付金) |
| (2) 市債 90% | 4,400千円 | (公共施設等耐震化事業債) |
| (3) 一財 | 28,395千円 | |

(単) **国体施設整備事業（教育委員会事務局 スポーツ文化課）**

40,813千円 (29,451千円)

1 事業目的

平成29年度に開催されるえひめ国体において新居浜市で実施される競技会場の施設整備を行う。

2 事業年度

平成25年度～28年度

3 26年度の事業内容

工事費 40,813千円

- ・市営野球場ファールポール取替え
- ・市営野球場グラウンド舗装等
- ・市営野球場音響設備更新

4 財源内訳

- | | | |
|-----------|----------|---------------------------|
| (1) 県 1/2 | 15,274千円 | (第72回国民体育大会市町等競技施設整備費補助金) |
| (2) 一財 | 25,539千円 | |

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(単) 国体関連施設整備事業 (企画部 港湾管理課)

186,594千円 (9,306千円)

1 事業目的

平成29年度に開催が内定している「えひめ国体」の円滑な開催に向けて、セーリング競技会場であるマリパーク新居浜に、所用の施設を計画的に整備し、「えひめ国体」の開催に備える。

2 事業年度

平成26年度

3 事業概要

(1) 場所 垣生3丁目 マリパーク新居浜内

(2) 全体計画

- ・ヨット艇庫建設工事
- ・斜路(常設、仮設)設置工事
- ・艇置場整備工事
- ・駐車場整備工事
- ・浮棧橋改修工事

(3) 事業期間 平成25年度～29年度

4 26年度の事業内容

委託料 6,127千円

- ・ヨット艇庫実施設計業務委託

工事費 180,467千円

- ・ヨット艇庫建設工事、浮棧橋改修工事

5 財源内訳

(1) 県 2/3 68,395千円 (第72回国民体育大会市町等競技施設整備費補助金)

(2) 一財 118,199千円

◎近代化産業遺産の保存・活用の充実

(単) **旧広瀬邸庭園整備事業 (教育委員会 スポーツ文化課) (新規)**

10,631千円

1 事業目的

旧広瀬邸内庭を整備し、国の名勝指定を受けることで観覧者数を増加させることにより、より多くの方に新居浜市の文化・歴史に触れてもらい、近代化文化遺産への理解を深めてもらう。

2 事業年度

平成26年度

3 事業概要

旧広瀬邸内庭の心字池は、明治22年の完成当時は河川から引水を行っていたが、現在は用水管に漏水があるため引水をとりにやめ、池の水として水道水を利用している。

明治期の京都では琵琶湖疎水から庭園内の池に引水を行うことが流行したが、旧広瀬邸の引水は、その先駆的なものにあたる。用水管を修復し当時の状態を再現することで、旧広瀬邸の文化財としての価値を高める。

4 26年度の事業内容

(1) 測量委託	1,418千円
(2) 用水管改修工事	6,032千円
(3) 用地費	884千円
(4) 補償費	1,928千円
(5) 事務費	369千円

(単) **近代化産業遺産整備事業 (企画部 別子銅山文化遺産課)**

8,875千円 (1,323千円)

1 事業目的

今も市内には、世界に誇れる別子銅山産業遺産が多く残されている。それらをまちづくりに生かし、また、市内外に情報発信するという視点からマイントピア別子、広瀬歴史記念館などの整備を行ってきたが、今後とも中核施設の整備が必要となっている。

2 事業年度

平成26年度

3 26年度の事業内容

(1) 社団法人自彊舎記念会の解散に伴い、平成25年12月末までに解体された建家跡地を新居浜市に寄附いただいたことから、当該地の測量を行うと共に、記念碑、説明板等を整備し、鷲尾勘解治翁及び自彊舎の顕彰を行う。

・自彊舎跡地測量業務委託	1,080千円
・自彊舎跡地整備工事	5,724千円

(2) 住友共同電力(株)から寄附を受け、平成22年4月から新居浜市で管理している元社長宅の雨水排水設備が老朽化していることから、改修工事を実施する。

・山田社宅雨水排水設備改修工事	2,071千円
-----------------	---------

4 財源内訳

(1) その他	8,875千円 (あかがね基金)
---------	------------------